

令和4年度 地域振興事業

事業名	事業概略
SUPイベントとスポーツコミッションとの連携による地域振興事業（単年度）	令和4年10月に再延期となったSUP全日本選手権大会や地元SUPイベントを開催する。 令和3年12月に設立した「スポーツコミッションみなまた」と連携して実施することで、より効果的に地域の経済効果やスポーツ振興につなげる。
【若年層】 私たちの「そさえてい5.0」 （2年目／3年）	鳥獣被害に悩む地域の被害軽減のため、箱罾に加え、囲い罾を新たに製作する。囲い罾は、条件を満たせば、狩猟免許が不要となり、罾設置のハードルを下げることができる。 また、猟師の高齢化・減少問題等の課題解決に向け、猟友会や市と連携し、狩猟者を支援する新たなスキーム構築に取り組む。
【若年層】 地元建設業の魅力を発信し産業振興のために水高生にできること～次世代の地域を担う人材育成に向けて～ （2年目／3年）	地元建設業の人手不足等の課題解消のため、管内中学校等への出前授業の実施や、熊本県建設業協会芦北支部と共同で地元建設業のPR動画を制作し、建設業の魅力発信に取り組む。
【若年層】 水俣・芦北地域活性化プロジェクト （2年目／2年）	地域で活躍している生産者や菓子職人を講師として招き、観光産業等の現状の学習、素材にこだわった商品開発を行う。 また、イベント等での販売実習やSNSを活用した情報発信を通じて、生産者や製造業者との新たな関係を構築するなど地域振興に取り組む。
写真展「9人の写真家が見た水俣」開催及びワークショップとバスツアーの開催 （単年度）	熊本日日新聞社新聞博物館において「9人の写真家による水俣病写真展（仮称）」を開催し、写真家によるトークショーを2回開催する。 また、県内の大学生、教職員を対象とした「水俣病を学び、水俣・芦北地域の地域素材を知るワークショップ&バスツアー」を実施し、水俣病の歴史と教訓の発信、環境教育の充実を目指す。
地域の不要材となっている竹や地域産品を利用した食品関連の新商品開発と雇用創出（3年目／3年）	地域の不要材となっている孟宗竹で作った竹炭に、規格外のサラダ玉ねぎや海藻、市場に出せない小魚をミックスし竹炭グラノーラを開発した。 今年度から美容や健康志向の強い人をターゲットに、試験販売や販路開拓に取り組み、地域の雇用の場の創出に取り組む。
「（2022年版）訪れてみたい日本のアニメ聖地88」認定記念事業 （単年度）	芦北町を舞台としたアニメ「放課後ていぼう日誌」が「（2022年版）訪れてみたい日本のアニメ聖地88」に認定された。 同アニメを活用したデジタルスタンプラリーなどを開催し、アニメファンを中心とした観光客の誘致を図る。

<p>【若年層】 九州豪雨災害で被災した古民家を活用した、食品の開発・地元文化や地域との交流に関する研究 (2年目/2年)</p>	<p>令和2年7月豪雨で被災された農家や地元企業と連携し、芦北町の魅力を外に発信できる商品の開発に取り組む。 また、開発した商品の試食会や提供を古民家を活用して行うことで、地域の方と接する機会を増やし、地域への理解を深め、地元定着につなげていきたい。</p>
<p>【若年層】 光合成細菌がカンキツ栽培に与える効果の研究 (2年目/3年)</p>	<p>崇城大学発ベンチャー企業「Ciamo」が開発した「農業に使える光合成細菌」による、スイートスプリングへの果実肥大や糖度上昇等の効果検証に引き続き取り組む。 また、イノシシやシカなどの有害鳥獣から、研究エリアを守るため、電柵を設置する。</p>
<p>岬から始まるオリーブの里づくり事業 (1年目/3年)</p>	<p>現在、農家の高齢化や後継者不足により、生産量の減少や耕作放棄地の増加が大きな課題となっている。 そこで、甘夏みかんやデコポンに続く作物として、オリーブの試験栽培や加工品開発に取り組む。 将来的に、町内にオリーブ栽培等を普及させ、稼げる農業の実現、6次産業化等を目指す。</p>
<p>SDGsの取組み（堆肥製造） (2年目/3年)</p>	<p>持続可能な社会実現のため、化学肥料を一切使用しない自然農法でのサトウキビ栽培し、そのサトウキビを原料に黒糖を製造している。 製造過程で発生する搾りかすで堆肥の製造も行っているが、路地のため、水分調整が困難な状況。 そのため、屋根付きの堆肥舎を建築し、さらに良質な堆肥の製造を目指す。</p>
<p>山本太郎ニッポン画つなぎプロジェクト (単年度)</p>	<p>現代社会をユーモアと日本画の伝統技術で描く「ニッポン画」を提唱する画家、山本太郎氏（熊本県出身）を招へい。 「あなたの物語はわたしの物語」をテーマに津奈木町の物語を住民とともに取材、作品に仕上げ、つなぎ美術館で成果展を開催する。</p>
<p>御所浦町の島は18島？御所浦の謎を魅力的な周遊コースに</p>	<p>令和5年10月に恐竜の島博物館が、リニューアルオープンする予定。 これに向けて、御所浦の観光ツールであるクルージングの新たな周遊コースを造成するため、御所浦町の謎についての調査や調査結果を生かしたコースの検討、モニターツアー等を実施する。</p>
<p>【若年層】 御所浦ベンチプロジェクト ～高校生×地域住民のベンチDIYイベント！～</p>	<p>通信高校の学生が御所浦町を訪れる機会を活用し、地域おこし協力隊等と連携して、ベンチづくり体験や地域へのベンチ贈呈式を行う。 地域の集いの場を創出するとともに、贈呈式等を通じて、高校生の地域に対する愛着を生むきっかけをつくり、関係・交流人口の拡大を図る。</p>